橋に生きる顔

㈱補修技術設計　技術部土木課課長　斉藤　雅信さん

新技術も積極的に挑戦

大学では画像工学科で写真化学を専攻。卒業後は画像処理機器メーカーに就職してハード開発に携わる。無縁だった土木の世界に入職したのは機器の図面から設計に興味を持ったから。

5年間勤めたメーカーを退職後、職業訓練校で製図を学び、橋梁の補修設計会社に就職した。入社後2カ月で川崎重工の橋梁設計チーム（当時）に単身出向し、大規模橋梁の落橋防止対策のプロジェクトに関わることに。「知識も経験もなく図面もおぼつかない状態でしたが、幸運にもトップレベルの仕事を経験できました」と振り返る。

その後も橋梁の現場や工場へ出向し、実践を重ねる中で土木や橋梁の知識を深め、人脈を広げる。土木の印象を「前職の世界はコミュニケーションの苦手な人が多かった印象でしたが、土木は人と人とのつながりをとても重視する」と語る。

様々な現場を経験し人脈を広げるなか、現在の会社の中馬勝己社長と出会う。現場へ新技術の導入を積極的に進める中馬社長の姿に影響を受けて入社した。現在は技術部土木課で、3Dレーザースキャナーなどの新技術も担当し、再び高度な画像処理技術と向き合っている。

3D技術で既設橋梁のアンカー位置の近接測定をしたところ、「現場から非常に正確に短時間で施工できると喜んでいただいている」と笑顔。開発と違い、ユーザーの反応を直接見ることができ、やりがいにつながっている。

画像処理技術と橋梁、両分野に精通するスキルを生かし、「新しいことに積極的に挑戦していきたい」と展望を語る。

千葉大学工学部卒。富山県射水市出身の48歳。

（山田由乃）

2017年10月～18年9月　北陸・甲信

補修設計発注動向

自治体　新潟県　最大規模、150件9億超

山梨県3.5億、1千万案件が1／4

本紙では、今後の保守工事発注の指標となる17年度下半期から直近1年間（17年10月～18年9月）の補修設計業務の発注状況を都道府県ごとに集計し、市町村まで含め動向をまとめている。今回は北陸・甲信地方（新潟・富山・石川・山梨・長野）の5県について動向をまとめた。

【新潟県】

県全体では約9・5億円と10億円に迫る規模。そのうち県発注はおよそ100件で約7・2億円。市町村も件数は50件超と多いが約2・3億円にとどまる。県案件は長岡管内や十日町管内がそれぞれ15件前後と件数が多いが、1000万円未満の案件が多い。市町村では長岡市が15件と突出し、次いで新潟市、上越市が8件と続く。

【富山県】

県発注は約2・2億円、市町村は約1・1億円。県案件は高岡管内（小矢部、氷見土木含む）が16件と断トツに多い。1000万円超は多くはなく、空港橋耐震補強詳細設計（約1500万円）、伏木港大橋橋梁補修設計（約1400万円）など数件。市町村は件数、金額とも富山市が半数を占める。

【石川県】

県全体で発注が約2・5億円。うち県発注は31件で約1・2億円。中能登管内が13件と最多。

市町村は小松市9件約3600万円、金沢市6件約4100万円など。県全体で1000万円超の案件は1件のみで、500万円未満の案件の割合も高い。

【山梨県】

県発注は38件で約3・5億円。1000万円超の案件が全体の4分の1程度ある。発注は富東管内が15件、中北管内が9件。両管内とも耐震補強案件が多い。金額では市川大門高架橋耐震補強実施設計の約1900万円が最大。

市町村は特に件数の多いところはなく合計で17件だが、新住吉橋拡幅耐震補強詳細設計（約4100万円、都留市）や万年橋耐震補強・補修設計（約28市）などあり、発2億円に

【長野

県発注2億円に00万円

直近2半期（17年下期～18年上期）の全国自治体補修設計の発注状況

事業者	件数	発注総額（百万円）
新潟県	150	950
うち市町村	54	231
富山県	58	342
うち市町村	23	116
石川県	58	250
うち市町村	27	126
山梨県	55	579
うち市町村	17	226
長野県	45	214
うち市町村	16	86

点検時に3次元測

国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）は、橋梁の定期点検時に3次元モデルの作成を行えるよう、簡易な作成方法の検討に着手した。将来、マニュアルを作成する際の検討材料とする。

9月18日にSLAM（Simultaneous Localization and Mapping）を用いた橋梁の計測および3次元モる課題のを公示し間は来年SLAの自己位図作成（デリング環境計測で、GP元計測が国総研

アクティオがi―Con

UAV測量など最新

ドローンを使ったUAV測量

建機レンタル大手のアクティオは11月30日、千葉県の自社トレーニングセンターでプレス向けのi―Construction（i―Con）セミナーを開催し、スピーディーで効率的なICT施工のメリットを座学と実演で紹介した。

座学では、i―Con

推進に取省の施策で、測量工、出来エフロー能な機器を提案。

実演でトータルドローン測量を披